

別紙 1 - 1

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 甲 第 号
------	---------

氏名 室井 航一

論文題目

Subjective Symptoms in Patients with Eosinophilic Esophagitis Are Related to Esophageal Wall Thickness and Esophageal Body Pressure

(好酸球性食道炎患者の自覚症状は、食道壁の厚さと食道体部圧に関連している)

論文審査担当者 名古屋大学教授

主査委員 勝野 雅央

名古屋大学教授

委員 小寺 春弘

名古屋大学教授

委員 内田 広夫

名古屋大学教授

指導教授

藤城 光弘

別紙 1 - 2

論文審査の結果の要旨

今回、好酸球性食道炎 (EoE) 患者の自覚症状に食道壁の肥厚と食道体部圧の上昇が関連している可能性が示された。EoE の診断基準に“食道運動障害に起因した自覚症状を有すること”が必須項目とされているが、EoE の自覚症状を客観的に評価する方法が求められている。アレルギー反応による浮腫や線維化が食道壁を肥厚させることと、体部圧が上昇することが症状に関連しているのではないかという仮定から、症状の有無にわけて、超音波内視鏡 (EUS) での食道壁の厚さ、High resolution manometry (HRM) パラメータを比較検討した。更に有症状群に関しては、治療前後の症状の程度 (GSRS 質問紙表を使用)、EUS、HRM 結果を検討した。結果、有症状群では、EUS で食道壁が肥厚し、HRM では食道体部圧を反映する DCI 値が上昇していることを示した。更に治療後、質問紙表での点数は改善し食道壁の厚さ、DCI 値が有意に低下していることを示した。

1. EoE の症状には多様性があり、すべての症状を網羅する質問紙表はありません。今回使用した GSRS 質問紙表は消化管運動を評価することができ、比較的質問項目の多いものを選択しました。EoE 患者の主症状が嚥下困難感であることから、嚥下困難感のみに限定した質問紙表を使用した報告が過去にありました。今後前向き集積する上では、幾つかの質問紙表（症状の種類、頻度、程度）を使用するのがよいと考えています。

2. 本研究の結果で示した食道壁肥厚と体部圧の上昇が、EoE の病状を反映するものであれば、異常を認める患者様は治療の検討をしてもよいと考えています。その判断ができるようになれば本研究の結果が臨床的に意義のあるものになるとも思っています。しかし、これらの指標が病状を反映しているかどうかに関しては、現段階では示せておらず、症例の集積、経過をみていく必要があります。

3. BMI が有症状群で有意に高かった理由は以下のように考えています。GSRS 質問紙表にて、「胸焼け」「酸逆流症状」が治療後に改善していたことからもわかるように、本疾患の発症要因に胃酸逆流との関連があります。一般的に BMI 値が高い場合、胃内圧の上昇、食道胃接合部圧の低下を起こし、胃酸逆流を起こしやすいとされています。

4. 本研究では統一した治療を選択するために初期治療として勧められている PPI/P-CAB を選択しました。GERD が関与していることから効果のある方はいる反面、一部の症例では効果が不十分な症例もありました。そのような症例にはステロイド嚥下療法や抗アレルギー薬、免疫抑制薬、内視鏡的筋層切開術が選択される症例もあります。本研究においても数例は効果不十分でステロイド嚥下療法を追加しました。症例を集積することでステロイドでの効果も評価できれば良いと思っています。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

別紙2

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 甲 第 号	氏 名	室井 航一
試験担当者	主査 勝野 雅央 副査 小寺 泰弘	 	
	副査2 田代 広夫 	指導教授 勝城 兼弘 	
(試験の結果の要旨)			
<p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none">1. EoE 症状の評価に GSRS 質問紙表を選択した経緯/妥当性について2. 本研究の結果をふまえた上で、無症状患者への対応について3. 有症状患者では無症状患者と比較して BMI 値が高い原因について4. 本研究でステロイドではなく PPI/P-CAB を選択した理由			
<p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、消化器内科学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員会議の上、合格と判断した。</p>			